

Future Earth—その科学と社会における意義について
Future Earth - its implication in science and society

*安成 哲三¹

*Tetsuzo Yasunari¹

1.総合地球環境学研究所

1. Research Institute for Humanity and Nature

Future Earth は、地球環境科学の学際的統合を進めるプログラムとして出発したが、特に地球環境問題の解明だけでなく、解決をめざすために、研究を立案する段階から研究成果の普及と活用を含めて、社会の関係するステークホルダーとの協働を進めるというスタイル、即ち超学際的(transdisciplinary)な研究として進めることをその柱としている。このことは、科学者コミュニティだけによる科学研究ではなく、まさに社会における、あるいは社会のための科学として、地球環境科学を再編成し、統合することをめざしている。その意味で、18~19世紀以降続いてきた個別専門分野(discipline)の中だけで発展してきた近代科学を、新たなかたちの科学にしていく、ひとつの科学運動と位置づけることができる。このようなFuture Earthを進めるにあたり、どのような課題群があり、それらをどう解決しながら進めていくべきか。この発表では、これらの問題についての問題提起と議論を行いたい。

キーワード：フューチャー・アース、地球、持続可能性、地球環境問題、学際・超学際研究

Keywords: Future Earth, Earth, Sustainability, global environmental issues, interdisciplinary and transdisciplinary research